



風情ある蔵を巡って

5月21日、22日の2日間にわたって、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク主催による「ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」が開催されました。

昔懐かしい人力車や赤・青2台のボンネットバスが行き交う中、参加者は歴史ある16の蔵で、スタンプラリーのほか足袋の実演販売や藍染体験、和楽器の演奏などを満喫。さまざまなタイプの蔵を巡り、行田の魅力を再発見していました。

地域ぐるみで 子供たちの安心・安全を

6月9日、埼玉小・中学校の合同避難訓練および一斉下校が行われました。

今回で3回目を迎えるこの活動には、見守りボランティアなど地域の方々も参加。埼玉小学校校庭で行われた合同避難訓練で、知らない人に車から声を掛けられた時の対処方法を学び、その後行われた一斉下校では、中学生が小学生を通学路の集合場所まで責任を持って送り届けました。この活動を通して、児童・生徒の安全を守るために、学校、保護者、地域との連携がより一層強化されました。



吉田紀子さんが 東久邇宮文化褒章を受章

社会福祉法人ときわ会理事長の吉田^{かずこ}紀子さん(棚田町)が東久邇宮文化褒章を受章され、その報告のため、5月27日に市役所を訪問しました。

吉田さんは、幼児教育を始めて58年。長年にわたり、子育てを通して地域に貢献した功績が認められ、同褒章の受賞となりました。

慣れない手つきでそば打ちを体験

5月28日、忠次郎蔵でそば打ち教室が行われました。この教室は、NPO法人忠次郎蔵が開催しているもので、今回で14回目となります。

そば粉をうまくこねることができなかつたり、そば玉をうまくのすことができなかつたりと、そば打ちに悪戦苦闘していた参加者ですが、5回の教室が終了するころには、全員がそば打ち名人になっていることでしょう。

